

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会
- 地方創生調査特別委員会

各常任委員会では、9月定例会で付託になった議案・陳情等について審査を行いました。

総務常任委員会

(海野隆平委員長)

☆曾於市自治会有線放送施設の設置及び管理に関する条例の制定

問 大隅・末吉で地区内放送の設置数はいくらか。

答 大隅・末吉地区合計で128自治会ある。

問 有線、オフトークの使用料の減免については。

答 生活保護世帯と災害等の被害にあった世帯を想定している。

☆曾於市個人情報保護条例の一部改正

問 今回の改正理由は。

答 番号利用等の法制化により、個人番号をその内容を含む個人情報ということで特定

個人情報と、その保護を図るための改正である。

☆曾於市手数料条例の一部改正

問 今回の提案理由は何か。

答 平成27年10月から全世帯に発送される個人通知カード、平成28年1月から申請者に発送される個人番号カードの再交付の手数料を定める必要があるために、手数料条例の一部を改正するものである。

個人番号通知カードの再交付は一件につき500円、個人番号カードの再交付は1件につき800円である。

☆平成27年度曾於市一般会計補正予算(所管分)

問 自治会振興費のアンケート調査の内容は。

答 1500世帯に配布、自治会の実態や未加入等について調査したい。

問 市役所の補修はどこか。

答 本庁舎は建築して35年が経過しており、外壁に亀裂が入り、タイルが落下する恐れがあるため、補修する。

問 弥五郎伝説の里管理費の屋外電波時計はどこに設置するのか。

答 農土家市近くに一箇所、多目的広場の弥五郎記念館の方に一箇所設置する。

陳情書

☆川内原発2号機の再稼働に当たって、九州電力に住民説明会を求める陳情

平成27年3月の定例会において、陳情第2号川内原発1・2号機の再稼働に当たって九州電力に住民説明会の

開催を求める陳情は不採択になっているとの理由で本陳情は賛成少数で不採択とした。



通知カード



個人カード

文教厚生常任委員会

(今鶴治信委員長)

☆平成27年度曾於市
一般会計補正予算
(所管分)

問 高齢者訪問給食サービス事業の負担金の支払い等についての保証人はとっているか。

答 保証人の制度はとっていないが見守りの一環で行っているものである。

問 老人福祉費2億680万円は。

答 地域密着型特別養護老人ホーム等の整備に対する地域密着型サービス施設整備補助金1億9820万円。多世代交流・多機能型支援の拠点づくり事業による福祉拠点施設建物改修工事590万円等である。



福祉拠点施設予定地 (旧深川駐在所)

問 多世代交流・多機能型支援の拠点づくり事業は。

答 旧深川駐在所跡地に子どもから高齢者まで誰もが気軽に集い、住民自らサービスを提供することができる多世代・多機能型の福祉拠点施設を整備し、地

域課題や住民ニーズに
適応した福祉サービス
等を提供するものであ
る。

意見 多世代交流・多機能型支援の拠点づくり事業は補助金の交付される期間だけではなく、継続した事業をすべき。また財部・大隅にも市の単独事業で事業に取り組むべきである。

問 学校給食センター管理費284万円の増額は。

答 大隅学校給食センターのパネルシャッター修繕料である。

問 中学校管理費691万円は。

答 これまで大隅中恒吉方面コースは、バス会社に運転業務委託していたが、平成27年度で契約が終了するため経費節減のため新たにスクールバスを購入して直営するものである。

問 高木伐採業務委託料の内容は。

答 末吉総合センター内の榎木1本、せんだん3本、一ツ葉剪定5本をクレーン車2台使い伐採作業するものである。



伐採予定のせんだんの木 (末吉総合センター)

☆平成27年度曾於市
国民健康保険特別
会計補正予算

国民健康特別会計予算の補正については、歳入歳出ともに社会保険診療報酬支払基金からの決定通知に伴うものである。

建設経済常任委員会

(八木秋博委員長)

☆訴えの提起

(調停・訴訟)

本案は市営住宅及び市有住宅明け渡し等提起事件に関し、簡易裁判所に調停申し立て、あるいは提訴手続きをするものである。

問 対象となる5人のここに至った経緯は何か。

答 収入があり支払能力を持つが再三の催告に対し話し合いにも応じない、または、音信のない長期滞納者である。

意見 連帯保証人の行使を押し進めるべきである。



鹿児島産黒牛・黒豚しゃぶセット

☆平成27年度曾於市

一般会計補正予算

(所管分)

問 曾於うまいもんPR事業におけるふるさと納税贈呈特産品の種類と希望の現状はどうか。

答 問い合わせの多い焼酎も加えて現在58品目の商品を準備しており、人気の高い商品は、「黒牛・黒豚しゃぶセット」「黒牛焼肉セット」等、肉製品が主である。

問 本年度、ふるさと寄附金の実績は。

答 現在、寄附金は2億54万円となっている。

意見 この機会に曾於牛、豚等のブランド構築を図るべく工夫すべきである。

問 農地整備費の竹山地区農地保全整備事業計画の概要は。

答 大隅町八合原台地竹山地区整備計画であり排水路、集水路等が主な工事内容で、平成29年度から33年度までの予定計画である。

問 住宅管理費の市有原口団地の分筆測量設計業務は。

答 平成27年3月議会で議決された市有住宅譲渡条例にかかる活性化住宅の売払い準備で、第1号で土地の分筆をするものである。

☆平成27年度曾於市

笠木簡易水道事業

特別会計補正予算

今回の補正は、旧笠木水道組合時の施設修繕費であり応急用である。

問 笠木簡易水道事業工事の進捗状況及び計画は。

答 進捗率は平成26年度39%、27年度36%、28年度25%の計画である。

☆平成27年度曾於市

水道事業会計補正予算

今回の補正は、地方公営企業法改正に伴う総務省指示による公認会計士の委託料である。



着々と進む笠木簡易水道

地方創生調査特別委員会

(迫 杉雄 委員長)

曾於市議会地方創生調査特別委員会は、平成27年7月3日、議長を除く19名で設置されました。

国の4つの基本目標にそつて、曾於市まち・ひと・しごと創生戦略体系時の基本目標並びに基本的方向及び具体的な施策として、重要な業績評価指数に基づいて現状、取り組み、創生総合戦略の策定について5回の議論、協議を重ね終了しましたので報告します。

国の基本目標

①基本目標 地方における安定した雇用を創出する

意見・議論、

今後の施策提言

・ 県有地の学校跡地の利用については、

るべきである。

②基本目標 地方への新しい人の流れをつくる

意見・議論、

今後の施策提言

本市の観光で人を呼び込むためのグリーンツーリズムは、専業農家を中心に受け入れをしているが、兼業農家も含めて模索すべきではないか。

また、本市の農村のあるがままの姿は、都会とは違った景観や伝統が残っており、それを郷土の資産として守ることがリピーターの確保にもつながる。

・ 移住・定住促進には、都市や霧島市、鹿屋市のベッドタウンに対応するために、

今まで以上に取り組み、人口増を図るべきである。宅地分譲は事業費を取り戻せることから、財部地区における実績を考

慮して早急に取り組むこと。

・ (仮称) 地方創生公社なるものを設立し、空き家対策、市有住宅の有効利用等地域産業に必要な人材を提供できる組織を設置すること。

・ 住宅取得祝金等支給制度については、定住促進による効果が見られないことから、補助の拡充を図りながら情報の発信PRに努めるべきである。

③基本目標 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

意見・議論、

今後の施策提言

・ 曾於市の教育を受けさせたいというオリジナリティのある教育体制をつくり、市外より若い世代を呼び込むため、学校跡地を有効活用し専門学校、大学を誘致し、

学力向上並びに人口増につなげる。

④基本目標 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

意見・議論、

今後の施策提言

・ 住民同士の生活ネットワークは自治会集落である。地域活動・交流拠点として、整備し住民の暮らしと安全を守るべきである。

・ 地域をつくる安心な暮らしを守る、地域コミュニティ事業(住みやすさランキングアップ事業)に対応すべきである。(現在、県内ではランキング17位である)

・ 現在、本市の人口の推移を確保する「人口ダム機能」を目指すため、人口流出防止の施策等を見直す必要性と政策能力

を最大限に発揮するべきである。

結びに、地方創生調査特別委員会では、曾於市の将来への夢や願いを求めたものである。

10月策定の『曾於市まち・ひと・しごと創生戦略』の計画策定に対しての意見・提言であり、特別委員会の中で本市の現状は、財政力は2割台であることとを直視して、住みやすさランキングは全国的にも県下でも下位に位置している状況であるが、今後、本市の良いところを多いに生かし、成長力アップを指して曾於市版地方創生に取り組むべきである。